



VOL.5 熊野神社のおうご枋



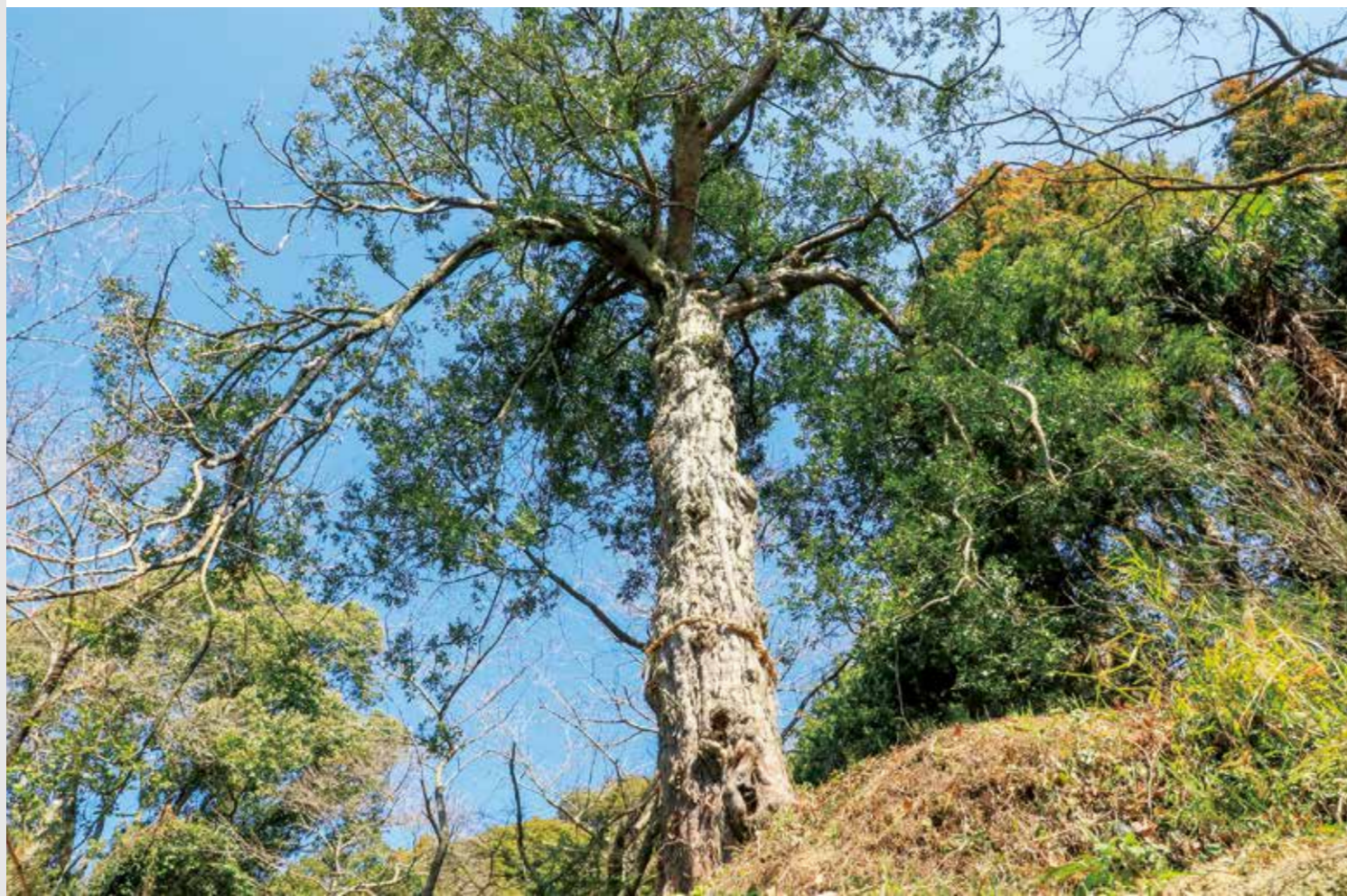
本家の熊野古道をほうふつ彷彿とさせるうっそうとした木々
樹齢約800年の歴史ある枋に癒やしを求めて

かむり冠 山登山道入り口をさらに奥に進むと、右手に坂道が見えてきます。この坂道を上ると、一際背の高いご神木の「枋」が現れます。枋とは、なぎの木のことで、樹齢約800年といわれています。

参道はうっそうとした木々に囲まれていて、樹齢数百年の古木が群生しています。石段を上った境内には拝殿や手水鉢などがあり、厳かな雰囲気漂います。境内左手にはコンクリート敷きの通路があり、坂道にはなっていますが、石段を上らなくても歩いていくことができます。麓から5分ほどでたどり着けるので、癒やしを求めて歩いてみるのもお勧めです。



▲木々に囲まれマイナスイオンたっぷりの境内



「福津三十六景」とは

市が誇る優れた景観や伝統的な祭りの風景などのこと。上の写真は、熊野神社のご神木の枋を撮影したものです。福津三十六景の写真は広報ふくつや市公式ホームページでも募集しています。投稿よろしくお願ひします。

福津三十六景を訪れる際は、交通ルールを守るなど、マナーアップを心掛けましょう。